

令和4年度 社会と情報 シラバス

<h1 style="margin: 0;">社会と情報</h1>	単位数	2単位
	学科・学年・学級	普通科 第1学年

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。 2. メディアの特性を踏まえ、情報を適切に収集・処理し、信憑性を判断したうえで、責任をもって発信する力を身につける。 3. 情報機器や情報通信ネットワークを活用し、他者とコミュニケーションをとりながら協働して問題を解決する力を身につける。 4. 情報機器や情報通信ネットワークのしくみを理解し、進展する情報社会に対応する基礎的な知識を習得する。
使用教科書・副教材等	教科書：情報I StepForward！（東京書籍）

2. 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

3. 年間学習指導計画及び評価方法等

月	学習内容	時間 配当	主な学習内容・活動	評価の観点
4	オリエンテーション	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0 から情報I の学習目標とシラバスを理解する。 ・ 実習用コンピュータの使い方を理解する。 	・ Society5.0 とは何か理解する。[知]
	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報とその特性[p. 2] 2 メディアとその特性 [p. 4] (問) 人と連絡を取るときの、適切なメディア 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報とは何か理解する。 ・ 情報の信憑性を評価する方法を理解する。 ・ メディアとは何か理解する。 ・ 各種メディアの特性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報やメディアを理解できる。[知] ・ 情報の特性を理解できる。[知] ・ メディアの特性を理解できる。[知] ・ コミュニケーションの場面で適切なメディアが選択できる。[思]
	<ol style="list-style-type: none"> 3 問題を解決する方法 [p. 6] 4 情報の収集と分析 [p. 8] 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・ PDCA サイクルについて学習する。 ・ データマイニングについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。[知] ・ PDCA サイクルが理解できる。[知] ・ データマイニングについて理解できる。[知]

5	5 解決方法の考案 [p. 10] 実 55 アイディアの大量生産[p. 140]	2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の各場面で活用できる発想法を学習する。 ・問題解決の各手法と整理方法を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マインドマップ、ブレインストーミング、KJ法のやり方を身につけている。[知] ・いろいろな考えを目的に沿って整理することができる。[思]
	6 知的財産[p. 12] 7 個人情報[p. 14] (問)写真で個人が特定される情報を見つける	2	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産とは何か学習する。 ・著作権と産業財産権について学習する。 ・個人情報とは何か理解する。 ・個人情報が流出・特定される仕組みについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権の定義と関連した法規を理解できる。[知] ・個人情報とは何か理解できる。[知] ・個人情報やプライバシーに関連した法規を理解できる。[知] ・正しい引用で表現できる。[思] ・個人情報が流出する原因を判断できる。[思]
	8 情報セキュリティ [p. 16] 9 情報モラルと個人の責任[p. 18] (問)不適切な行動に対しての法規とマナー	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて学習する。 ・不正アクセスとソーシャルエンジニアリングについて学習する。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・情報社会の安全を守るための、法規および個人の責任について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティで確保すべき要素を理解できる。[知] ・情報セキュリティに関する法規や制度を理解できる。[知] ・ソーシャルエンジニアリングにより情報が盗まれる理由が理解できる。[知] ・個人のマナーの意味を考えることができる。[思]
6	21 メディアと文化の発展[p. 50] (問)UGCについて調べる 22 ネットコミュニケーションの特徴[p. 52] (問)新型コロナ時のインターネットの情報	2	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる情報の流通について学習する。 ・インターネットを用いた、集団による文化の創造と個人の発信について学習する。 ・ネットワークの匿名性と記録性について学習する。 ・情報の偏りと隠された意図について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで情報が流通する仕組みや、用いられるツールを理解できる。[知] ・匿名性のメリットとデメリットが理解できる。[知] ・ネットワークの記録性について理解できる。[知] ・情報の偏りと隠された意図を見抜き、正しい情報を判断できる。[思]
	10 情報技術の進歩と役割[p. 20] 11 情報技術が社会に与える光と影[p. 22] 12 コミュニケーションとメディア[p. 32]	3	<ul style="list-style-type: none"> ・電子商取引やVR技術などの新しい情報技術について学習する。 ・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化について理解する。 ・情報化による健康への影響やデジタルデバイドなどの問題について学習する。 ・メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報技術による社会や生活の変化が理解できる。[知] ・情報化による健康への影響やデジタルデバイドなどの「影」の部分を理解できる。[知] ・コミュニケーションと技術の関係を理解できる。[知] ・情報技術の発達によるメディアとコミュニケーションの変化を考えられる。[思]
	13 情報のデジタル化 [p. 34] 14 数値の表現[p. 36] (問)2進法, 10進法, 16進法の変換 15 2進法の計算[p. 38]	3	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータとは何か学習する。 ・ビットによるコンピュータの情報の扱いを理解する。 ・2進法, 10進法, 16進法について学習する。 ・2進法の計算と数の表現について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータがどのようにデジタルデータを扱うか理解できる。[知] ・2進法, 10進法, 16進法の数の変換ができる。[知] ・2進法による加算と減算ができる。[知]
7	16 文字のデジタル表現 [p. 40] (問)同一文字の異なる文字コードでの値の確	1	<ul style="list-style-type: none"> ・文字のデジタル表現について学習する。 ・文字コードの種類について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字コードについて理解できる。[知] ・文字コードの違いを理解できる。[知] ・画像と文字データの違いを考慮することができる。[思]

	認			
	17 音のデジタル表現 [p. 42] (問)音楽CDのデータ量 18 画像のデジタル表現 [p. 44] (問)画像のデータ量	2	<ul style="list-style-type: none"> 音のデジタル化について学習する。 標本化周期と標本化周波数について学習する。 画像のデジタル化について学習する。 動画のデジタル化について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音のデジタル化の標本化, 量子化, 符号化が理解できる。[知] 画像のデジタル化の標本化, 量子化, 符号化が理解できる。[知] 動画の仕組みが理解できる。[知] 解像度と色の階調からデータ量を考えることができる。[思]
	19 データの圧縮[p. 46] 20 デジタルデータの特徴[p. 48]	2	<ul style="list-style-type: none"> データの圧縮について学習する。 可逆圧縮と非可逆圧縮の違いについて学習する。 デジタルデータのプラス面とマイナス面を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮とその手法を理解できる。[知] 可逆圧縮と非可逆圧縮の違いが理解できる。[知] デジタルデータのプラス面とマイナス面を理解できる。[知]
9	23 情報デザイン[p. 54] 実 58 図解表現[p. 143]	3	<ul style="list-style-type: none"> 情報デザインとは何か学習する。 情報デザインの方法である抽象化, 可視化, 構造化を理解する。 分かりやすい文書を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報デザインの目的を理解できる。[知] 情報を整理し, 抽象化, 可視化, 構造化して表現できる。[思]
	24 操作性の向上と情報技術[p. 56] 25 全ての人に伝わるデザイン[p. 58]	2	<ul style="list-style-type: none"> ユーザインタフェースについて学習する。 ユニバーサルデザインについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。[知] 色や文字のデザインを理解できる。[知] 使いやすいユーザインタフェースを考えることができる。[思]
	26 コンテンツ設計 [p. 60]	1	<ul style="list-style-type: none"> 情報デザインを行う場合の一連の流れについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報デザインのプロセスを活用する方法を身につけている。[知]
10	27 コンピュータの構成 [p. 70] 28 ソフトウェア[p. 72] 29 処理の仕組み[p. 74] 30 論理回路[p. 76]	4	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基本構成を理解する。 ソフトウェアの種類について学習する コンピュータの処理とデータの流れについて学習する。 プログラムの動作の仕組みについて学習する。 コンピュータの処理の基本的な回路と演算の仕方について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの違いを理解できる。[知] コンピュータの処理とデータの流れを理解できる。[知] ノイマン型コンピュータの仕組みを理解できる。[知] CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。[知] 基本論理回路とそれを組み合わせて計算する仕組みが理解できる。[知]
	31 アルゴリズムの表現 [p. 78] 32 アルゴリズムの効率性[p. 80] (問)探索アルゴリズムを考える (問)整列アルゴリズムを考える	2	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの必要性を理解する。 アルゴリズムの表現方法について学習する。 同じ問題に対して異なるアルゴリズムの解決方法があることを理解する。 探索アルゴリズムについて考える。 整列アルゴリズムについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの制御構造を理解できる。[知] フローチャートとアクティビティ図でアルゴリズムを表現できる。[知] 探索と整列のアルゴリズムを考えることができる。[思] アルゴリズムの効率性を考えることができる。[思]
	33 プログラムの仕組み [p. 82] 34 プログラミング入門 [p. 84] 35 プログラムの応用 [p. 86]	3	<ul style="list-style-type: none"> プログラムとは何か理解する。 プログラムのデータ構造について学習する。 プログラムの作り方を学習する。 プログラムで制御構造を組み合わせることを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムを作ることができる。[知] プログラムのデータ構造を理解できる。[知] 関数の意味と利用方法を理解できる。[知] プログラムでアルゴリズムを表現でき

	(問)じゃんけんのプログラム (問)サイコロのシミュレーションのプログラム (問)円の面積を求めるプログラム		・プログラムでの関数の利用について学習する。	る。[思] ・配列やリストをプログラムで使用できる。[思] ・条件分岐や繰り返しを使用してプログラムを表現できる。[思]
11	実 67 プログラムの改善[p. 156] 実 65 気まぐれ AI[p. 152]	2	・素数を求めるプログラムを開発・改善する。 ・簡易な対話プログラムを開発する。	・アルゴリズムによって性能が違うことを理解する。[知] ・適切なアルゴリズムを判断できる。[思] ・粘り強く、プログラムを改善しようとしている。[主]
	36 問題のモデル化 [p. 88] (問)洋服のサイズのモデル化	1	・モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。 ・モデル化を使った問題解決の方法を学習する。	・モデル化の考え方が理解できる。[知] ・静的モデルと動的モデルが理解できる。[知] ・物理モデル、図的モデル、数理モデルを理解できる。[知] ・適切な方法でモデルを表現できる。[思]
	38 シミュレーション [p. 92] 実 70 シミュレーションをしよう[p. 161]	3	・シミュレーションの必要性を理解する。 ・モデル化とシミュレーションにおける注意点を学習する。 ・テーマを決めて、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。	・モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。[知] ・表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う方法を身につけている。[知] ・適切なプログラムでシミュレーションを行うことができる。[思]
	40 情報通信ネットワーク[p. 104] (問)ネットワークと接続した場合の機器の機能拡張 (問)家庭内 LAN を構築する	1	・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・インターネットの接続方法について学習する。 ・小規模 LAN の構築方法を学習する。 ・ネットワークに接続した場合の機器の機能拡張について考える。 ・家庭内 LAN を構築する。	・インターネットとはどのようなものか理解できる。[知] ・小規模ネットワークの構成を考えられる。[思] ・粘り強く、ネットワークを構成しようとしている。[主]
12	41 デジタル通信の仕組み[p. 106] 42 インターネットの利用[p. 108] 実61 Web ニュースページ[p. 146]	3	・プロトコルとその 1 つとして TCP/IP について学習する。 ・IP アドレスについて学習する。 ・サーバの役割について学習する。 ・WWW サービスと電子メールについて学習する。 ・Web のニュースページを作成する。	・サーバとクライアントの役割を理解できる。[知] ・電子メールを送受信する仕組みを理解できる。[知] ・DNS の役割と動作の仕組みを理解できる。[知] ・Web ページの構造を表現できる。[思]
	44 情報システム [p. 112] 45 さまざまな情報システム[p. 114] (問)身の回りの端末の情報システム	2	・情報システムのサービスや形態について学習する。 ・電子マネーについて学習する。 ・身の回りの端末の情報システムについて考える。 ・オープンデータとその活用について学習する。	・いろいろな情報システムのサービスを理解できる。[知] ・電子マネーの種類と仕組みを理解できる。[知] ・身近に利用できる情報システムを考えることができる。[思]
1	43 安全安心を守る仕組み[p. 110] 46 情報システムの信頼性[p. 116]	2	・ファイアウォールについて学習する。 ・暗号化通信について学習する。 ・情報システムの信頼性について学習する。	・暗号化方式を理解できる。[知] ・情報システムの信頼性の指標が理解できる。[知] ・情報のバックアップと、機材の故障等の対応方法を理解できる。[知] ・ファイアウォールの役割と機能を説明

				できる。[思]
	47 データの活用とデータベース[p. 118] 48 データの管理 [p. 120] 実 73 コンビニデータベース[p. 164]	3	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースを処理するシステムについて学習する。 ・関係データベースについて学習する。 ・コンビニのサンプルデータベースを分析して、解釈する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース管理システムの必要性を理解できる。[知] ・関係データベースのデータ処理方法を理解できる。[知] ・関係データベースの操作ができる。[知] ・データを分析することができる。[思]
	49 データの収集と種類 [p. 122] (問)データの種類と尺度を判断する	1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類と尺度とは何か学習する。 ・データの種類と尺度を判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・質的データと量的データの違いを理解できる。[知] ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の違いを理解できる。[知] ・欠損値や外れ値などのデータを処理することができる。[思]
2 3	50 データの分析 [p. 124] (問) テキストマイニングでできることを考える	1	<ul style="list-style-type: none"> ・データを可視化する方法を学習する。 ・テキストデータの分析方法を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを可視化できる。[知] ・テキストマイニングの意味と活用方法を考えることができる。[思]
	51 不確実な事象の解釈 [p. 126] 52 2つのデータの関係 [p. 128]	2	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説検定の考え方と流れを学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。 ・相関関係と因果関係について学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説検定の考え方が理解できる。[知] ・相関関係について理解できる。[知] ・回帰式について理解できる。[知] ・相関から正しい因果関係が判断できる。[思]
	実 72 高校生の実態調査[p. 163]	4	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の実態調査をアンケートで行い、分析結果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なアンケートを考えることができる。[思] ・データ分析の結果を適切な表現方法で発表することができる。[思] ・粘り強く、データをいろいろな方法で分析しようとしている。[主]